

ありがとうの灯中

学校便り第10号
令和7年1月14日
福井市灯明寺中学校



2025年「巳年」を迎えてちょうど2週間が経ちました。遅ればせながら、「新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。」

さて、学校も再開して1週間が過ぎ、お正月気分も抜けて生活にリズムが生まれてきた頃かと思います。特に3年生においては、先週11日（土）に福井工業高等専門学校の推薦入試が行われ、明日は、県立私立の推薦入試、特色選抜入試並びにスポーツ文化選抜入試が行われます。いよいよ「受験本番」がスタートしました。一人ひとりの心の中は、緊張や不安感が最高潮となっているのではと推察します。でも、進路説明会でお伝えしましたが、受験は決して個人で行うものではなく、『団体戦』です。皆さんの隣には、同じ想いでこの試練と向き合う大切な仲間、日々一緒になって受験と闘っている保護者の方、皆さんを「自立」させるために熱心に支え指導している多くの先生方がいます。ですので、弱気にならずに、その人たちと自分自身を信じて、皆で力を合わせて「トンネルの出口」を目指してください。卒業までの残り「38日」の日々は、焦らずに、自分ができること、自分が計画したことを、一つひとつ丁寧に、着実にやり遂げてください。そして、『ありがとう』の言葉を大切にしながら毎日を過ごしてください。この姿勢と実践こそが、「トンネルの出口」へとつながる「真の歩み（成長）」となります。それでも不安なこと、悩むことが生まれたときは、遠慮無く、いつでも校長室へ来てください。以前中学校に勤務をしていたとき、進路関係の仕事を経験していたので何らかのアドバイスはできるかと思います。ぜひ私を「トンネルの非常口」として大いに活用してください。応援しています。

そして、2年生においては、2月に行われる「立志式」に向けた取組を現在行っていると思います。福井ゆかりの幕末藩士橋本左内氏が15歳のときに記した『啓発録』に習い、今の自分自身を見つめ直し、将来に向けた自分像や志を立てることが一番のねらいです。しかし、いざ志を立てろと言われても、おそらく多くの人は霧の中にいる状態で、今の段階で明確な将来像をもっている人の方が少ないと思います。それでいいのです。だからこそ、この行事を行う意義と価値が生まれます。ぜひ、真剣に、悩みながら、自分の長所、短所、強さ、弱さ、考え方や行動の方向性など様々な視点で自分自身と話合ってみてください。私がこの立志式を通して皆さんに期待するのは、自分を知り、好きになり、自分の生き方のビジョン（目標）を抱く経験をすることです。立志式では、2年生の皆さんの偽りのない自分づくりができた証（姿）を拝見できることを期待しています。

最後に、1年生においては、「先輩」とは違って、現在大きな活動はないかも知れませんが、今やるべき重要なことがあります。それは、「学習の見直し」です。いかがです？中学校の学習の基礎となる1年生の各教科における成績において、自分が納得のいく成果を得られていますか？2年生では今年度の学習内容の約1.5倍を学習します。基礎がなければ応用はできませんし、小学校と中学校の大きな違いは「勉強から逃げてはダメ」ということを知ってください。ぜひ「勉強に自ら取り組む灯中1年生」になってください。期待しています。全学年の生徒が、大きく「脱皮する一年」となることを願います。福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

<3年：総合学習「福井の街づくり提言会」>

12月20日（金）5&6限目、3年生はこれまで総合学習の時間を活用して取り組んできた「福井の街づくり提言会」を行いました。計11名の講師の方をお招きし、報道、経済、福祉、観光など様々なテーマでふるさと再生について自分たちの考えを述べました。どの講師の方も皆さんのユニークでオリジナル性の高い発表に大変感心されていました。皆さんのアイデアがひとつひとつ具現化することを心から願います！



視聴覚室（前）	
第1部 13:40~13:55	SDG's部門 SDG'sの100-
第2部 14:00~14:15	SDG's部門 高齢者
第3部 14:20~14:35	SDG's部門 エコパス
第4部 14:40~14:55	能力開発部門 広告・看板